

# 看護女性委員会ニュース

発効日 2019年12月23日



発行元 福岡県医療労連 看護女性委員会

住所 〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南一丁目9-8  
ケイ・アイビル2F

TEL 092(401)2020

2018年7月5日、フジテレビのアンビリバーボーで爪ケア事件の放送があった。12年前の事件である。当事者の上田里美さんは現在も看護師として働いている。また上田さんは、今年3月より福岡県医労連の「看護女性委員会」と「ナースウェブの会」に参加し活動を共にしている。

今年の看護女性委員会の学習会は、多忙な医療現場の中での「看護ケア」を考えながら、もう一度「爪ケア事件」を振り返ることにした。

## ～今学ぶ！爪ケア事件の真実と今の看護現場

### 【事件の概要】

2007年、北九州の病院で看護師（課長）が高齢の入院患者の爪をはがしたとの報道があり、看護課長は逮捕され「傷害罪」で起訴されました。

2009年3月30日、福岡地裁小倉支部は「傷害罪」とし、「懲役6ヶ月・執行猶予3年」の有罪判決を言いわたしました。上田さんは即日控訴。

2010年9月16日、福岡高裁は、一審には明らかな事実誤認がありとして「無罪」と判決。上田さんの「無罪」が確定しました。



アクロス福岡の会場には54名の参加で、第一部としてアンビリバーボーで放送された「実録！虐待疑われた看護師と女性弁護士の戦い」を放映。

第二部に「爪ケア事件から思うこと」と題し、上田里美さんに講演いただきました。

上田さんは、長い留置期間の中で、心が折れそうになった時にも寄り添ってくれた弁護士の先生や、看護協会、看護師の仲間、労働組合、家族の絆の力が大きかった事、自身の「これはケアである」と言う信念を伝えるとともに、今の多忙な看護現場で、どのように患者さんと向き合うのかについて話されました。そして「看護師の一番の見方は患者さん！」と話され、今も看護師に誇りをもって看護をされている上田さんの話は、私たちに感動と勇気を与えてくれました。

### 【見せましょ「署名」のちからを】

上田さんは、裁判で勝利できたことの一つに、署名の力があると看護女性委員会の中で話されたこともあり、署名が内閣にどのように届き、署名の力が発揮されるのかと、署名の取り方・書き方の学習を行い、実践することも含め、学習会終了後天神で白衣の宣伝行動を行ないました。



### 【注意！！】

下記の場合、議員や政党事務局に提出する際に受け付けてもらえない場合があります、注意が必要です。

- ① 氏名(苗字)、住所記載時に「//」や「同上」
- ② 住所の記載欄に都道府県や市町村の記載がない
- ③ 番地の記載がない

日本医労連【見せましょ「署名」のちからを】より



学習会終了後、天神にて夜勤交代制労働の改善を  
求める白衣の署名宣伝行動を行いました。

41名で162筆の署名が集まりました。

ご協力ありがとうございました！！

## 【参加者からの感想】

〈上田さんの講演〉

☆看護師という職業が常にリスクと隣合わせであることを改めて感じました。事件にならずとも、良かれと思って自分がやった行動が予期せぬ結果になったりすることは現場ではよくあることなのではないかと思えます。また、こういった事件が起こることで、看護の質の低下(余計なことはしないでおこうという考え)にもつながってしまう恐れもあると思います。患者さんの立場に立ったケア、プロとして行わなければならないケア、家族がのぞむケア、全部を叶えた看護はできないかもしれないですが、その中でどれだけコミュニケーションをとっていかっていくことは大きなヒントになりました。(看護師 20代 女性)

☆自分の思いを貫くことの大切さ、難しさを知った。だからこそ、理念や考えを自分の中で確立することも大切であり、「専門」として関わっていることを意識していきたい。(30代 男性)

☆看護師として、患者のベッドサイドに多くいたい。看護ケアを1つでも多く行える環境に希望ばかりが満ちていた頃をなぜか思い出しました。今は自分の介護をふりかえるより、日々の業務内容に正当性ばかりを並べていることが、改めて悔しくてたまらなくなりました。人間関係をよくするのなら医療現場ではやはり、人の数だと思います。それが患者中心の医療サービスです。(看護師 40代 女性)

☆当時爪ケア問題で、虐待と発表された時、実際肥厚していた患者に爪切りしていたので、これで有罪になるのなら、処置できないと思った経験がありました。今後特定行為の研修や認定も始まっている。もっと看護師のこういう事件が起きるのではないかと思った。(看護師 50代 女性)

☆諸外国の看護師の仕事内容や、国や厚労省の問題点について聞いたのがよかった。また夜勤の有害性について聞け、職場に帰って伝えたいと思った。自分の身は自分で守り、要求することも重要。(看護師 50代 女性)

〈署名の学習及び署名を取る時に感じていること〉

☆番地迄書かないといけない事は知らなかったので今後気を付けます。白衣を着ての行動の方が立ち止まってくださる方が多いように感じます。(看護師 20代 女性)

☆無視されても、何人にでも声掛けをする。数が必要なのでがんばるのみです。(看護師 30代 男性)

☆学習することなく、署名に取り組んでいたのが、改めて学習できてよかったです。最近、署名をお願いすると「大丈夫です」と言われることがあります。何が大丈夫なん?!と怒っています。(40代 女性)



看護女性委員会は、毎月一回土曜日の10時30分～12時30分、看護に携っている方が集まり、各単組の取り組みや課題を意見交換しながら楽しく行っています。ぜひ、多くのご参加をお待ちしております。 県医労連書記局